

特集「いただきます」の向こう側 ～給食を支える、子どもたちの未来～



太鼓の音で、つながる輪

2026
8

まちのスケジュール

■教育 ■健康・保健 ★文化・体育 ◆その他

1 土	
2 日	★ 来島地区一斉ラジオ体操(来島交流センター)
3 月	■ 飯南高オープンハイスクール
4 火	
5 水	
6 木	＋ 食生活改善推進員養成講座(保健福祉センター)
7 金	
8 土	◆ みんなの広場夏祭り(来島交流センター)
9 日	
10 月	＋ 行政相談(来島交流センター)
11 火 山の日	
12 水	＋ オレンジカフェ(交流センターとんぼら)
13 木	
14 金	
15 土	◆ 二十歳のつどい(来島交流センター) ◆ 谷地区盆踊り大会(谷笑楽校) ◆ 赤名地区盆踊り大会(赤名改善センター)
16 日	■ しまね家庭の日
17 月	
18 火	＋ オレンジカフェ(赤名福島邸)
19 水	■ 5館共催三瓶へ行こう！(三瓶青少年交流の家) ■ 飯南高始業式
20 木	＋ 乳児・1歳6か月児・3歳児健診(保健福祉センター)
21 金	■ 飯南町学校運営協議会研修会(役場本庁舎)
22 土	＋ オレンジカフェ(上赤名会館)
23 日	■ 来島小PTA奉仕作業
24 月	
25 火	
26 水	■ ほっと。cafe子育て世代食講座(来島保健センター)
27 木	■ 始業式(中学校・頓原小・来島小・志々小) ■ 飯南高鵬雲祭(～8月29日)
28 金	◆ ツキノワグマの生態と対策(来島交流センター) ＋ オレンジカフェ(つがか工房) ◆ はぴこ無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制 ■ 頓原小PTA環境整備作業
29 土	◆ プロダンサーBOW振付ワークショップ(来島交流センター)
30 日	★ 谷地区町民体育大会(谷笑楽校)
31 月	◆ 国民健康保険料納期限・後期高齢者医療保険料納期限 ◆ 町県民税納期限
〈毎週火・水・金曜日〉＋ ほっと。Café(来島保健センター)	

町の人口 4,186人(前月比－7人) 世帯数1,972戸 R8.7.1 現在



休日は家族と出かけることが多いという瀧口さん。釣りなどのアウトドアや観光地を巡るのも楽しいと話します。中学生の頃は友達とバンドを組んでいたことも。現在の趣味は読書。

西日本を拠点とする大手電気通信会社で、企業向けのネットワークサービス設備の構築に携わる瀧口優さん(41歳)。遠隔地にあるオフィス同士を、通信ネットワークで繋ぐなど、企業に安全で快適な通信環境を提供しています。「今の社会にとって、通信インフラの

「ルーツいいなん」60

このまちに住んでいようと、なからうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介します。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

一歩先の未来へ、社会を動かすネットワーク



たきぐち ゆう 瀧口 優さん

上赤名出身。松江工業高等専門学校専攻科卒業。情報工学科で情報機器のハードウェア技術などを学ぶ。現在は大手電気通信会社で、一般企業向けのネットワークサービス事業に携わる。(大阪府在住)。

整備は欠かせないもの。事業が無事に完了した時は、自分の仕事に社会に貢献していることを感じると話します。進路を決める際、「地元を離れてチャレンジしてみたい」と松江工業高等専門学校への進学を決めた瀧口さん。家族や友人と離れての学校生活は、苦しい時もあったといいます。

「誰も知り合いがいない状況から、人間関係を築くのは大変でした」と振り返る瀧口さん。その経験が、さまざまな部署や企業と連携する、今の仕事にも活かしているのかも微笑みます。

まちを離れたことで、改めてふるさと

との良さに気づかされたという瀧口さん。「飯南の魅力はやはり、自然の豊かさ。夜の星空の美しさや、季節ごとの匂いなど、自然を体全体で味わう感覚がある」と話します。これからのまちには、新しいお店がオープンしたり、おもしろいことにチャレンジする人が増えたりするとうれしいと瀧口さん。ふるさととは、いつまでも生き生きと、活力に満ちたまちであってほしいと、瀧口さんは願っています。

今日の表紙

東三瓶フラワーバレーで開催されたポピー祭で、A.L.T(外国語指導助手)のドーン・ダニエル・エヴァンさん(写真左)、ラブ・ランデン・ブレイクさんが勇壮な和太鼓を披露しました。二人は日本文化に触れたいと「石見あらがね太鼓」(邑南町)に所属。週1回の練習に参加しています。A.L.Tとして町内小中学校で英語指導にあたるほか、英会話教室を開催したり、公民館と連携し国際交流企画を実施したりと、地域で幅広く活躍しています。



飯南町公式SNS



スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか

マチイロ